

ごあいさつ

福島県立いわき総合高等学校
(本校舎・好間校舎)
校長 太田 隆明



令和7年3月、好間高等学校は創立以来の77年の歴史に幕を下ろしました。
令和7年4月、いわき総合高等学校と統合し、新たなスタートを切りました。
統合に至りましては、保護者の皆様方、地域の皆様方には様々な御協力を賜りましたことに御礼申し上げます。

さて、いわき総合高等学校好間校舎と名称は変わりましたが、教育の内容は、従来の好間高校の教育方針を継承してまいります。

まずは、規律ある学校生活を通して、豊かな人間性と学力を育み、地域社会に貢献するとともに、自らの理想を目指して努力し続ける人間を育ててまいります。

地域と共にある好間校舎は、教育の根幹を人づくりに置き、社会に貢献できる人材育成のために「鍛える教育」を行ってまいります。

特に、一人一人の生徒に安全・安心な学習環境を提供し、限らない可能性を引き出す教育の実践に努めてまいります。

これまでの好間高等学校に引き続き、保護者や地域の皆さまの御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

最後に自己紹介をします。

私は教諭として、平成4年4月から平成8年3月まで、好間高等学校に勤務しておりました。私の担当教科は美術でした。担任も務め、最後は3年4組の担任でした。この年には国体が本県で開催され、私が担任したクラスにも、柔道等で活躍した生徒が多数おりました。

この他、学級活動や生徒会活動で、たくさんの思い出をつくることができました。

昨年度からいわき総合高等学校の校長を務めておりますが、地域や保護者の皆様方の中には、当時好間高等学校の生徒さんだった方もたくさんおられます。

いわき市、そしてこの好間の地は私にとって原点の場所です。

あらためまして、どうぞよろしくお願いいたします。